

先月は、色々な所で「Matariki(マタリキ)」の文字を見かけました。このマタリキとはニュージーランドの真冬、明け方の空に見える星団のことです。英語ではプレアデス星団、日本語では「すばる」と呼ばれます。

ニュージーランドの先住民マオリ族の新年はこのマタリキが現れる6~7月から始まります。この星団について世界で色々な神話がありますが、マオリの神話では母マタリキと6人の娘と言う話があり、一つ一つの星に名前がつけられています。現在ではマオリ人だけでなく、ニュージーランド全土でこのマタリキを祝うイベントが催されています。

息子の通う保育園では、「マタリキ ナイト」というちょっとしたイベントがありました。子どもたちが作ったKumara(クマラ さつまいもに似ている)とかぼちゃのスープ、揚げパン、ビスケットなどをふるまったり、マタリキの時期に学んだことの発表としてマオリ語の歌やダンスの披露がありました。また、各家庭から持ち寄りの料理もあり、短い時間でしたがとても心温まるひとときでした。

このマタリキ、実は来年からニュージーランドの国民の祝日に加わります。日には毎年変わりますが、マタリキ期間中に当たる6~7月の金曜日になるそうです。

それではまた来月。See you!

ブース千尋



歴史あるコロムビアレコードの戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい
コロムビアレコード」なつかしの歌声 大行進 後篇
 「白い花の咲く頃」「東京だよおっ母さん」「高校三年生」
 日時 八月四日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三〇分~十五時
 八月二十五日(王喜の郷・食堂) 十三時三〇分~十五時
 ※懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをとお楽しみください
 (会費) 三〇〇円(お茶代・資料代)
 (お問い合わせ) 山根(ミント) 中村(ケアハウス)

「美空ひばり 島倉千代子 ライバル対決」

先月コロムビアレコードの設立からのお話を書かせていただきました。今月は、その続編をお届けします。戦後のコロムビアレコードを支えた「2大スター」が美空ひばりと島倉千代子でした。美空ひばりは、昭和24年に12歳という年齢で「河童ブギウギ」でデビューしました。まだ当時は、「子供は唱歌を歌うもの、流行歌を歌う子供は不良」という時代で、あまりに歌謡曲を上手に歌う、美空ひばりに対して、世間は賛否両論でした。大人の歌手たちからも風当たりが強く、中でも「ブギの女王」と称された、笠置シズ子からの風当たりが強く、まだ、デビューして間もない、美空ひばりは持ち歌が少なく、舞台では、笠置シズ子の「東京ブギウギ」を頻りに歌っていましたが、正式に笠置シズ子より「私の歌を歌う事を禁止する」と言われ数々のいじめを受けていました。しかし、デビューした昭和24年には、松竹映画「悲しき口笛」に初主演、同名の主題歌も45万枚を売り上げる初ヒットとなり、シルクハットに燕尾服の姿は美空ひばりのトレードマークにもなりました。その後、「ひばりの花売娘」、「あの丘越えて」、「リンゴ追分」など大ヒット曲を連発し昭和28年、大人の歌手をおさえ、人気歌手投票では、栄えある1位に輝きました。

美空ひばりを目標に、後を追うように昭和29年「全国コロムビア歌謡コンクール」で優勝し、昭和30年に17歳で「この世の花」でデビューしたのが、島倉千代子でした。デビュー曲は、いきなりの200万枚の大ヒットとなり、その後、「りんどう峠」「東京だよおっ母さん」「逢いたいなアあの人に」と100万枚を超える大ヒットを連発し、スターの仲間入りをしました。マスコミは「ライバル 美空・島倉」と書き立て、業界では「同じ歌番組に出演させてはいけない」「楽屋を隣同士にはいけない」という暗黙の決まりもあったほどでした。この2人が唯一、共演したのが、毎年恒例「NHK紅白歌合戦」でした。ここでもマスコミは「紅組のトリは美空か島倉か」と書き立て、国民の興味を駆り立てました。しかし、大変なライバル関係というのは、マスコミが勝手に作り上げた物で、2人はお互いを認め合い、島倉は美空を尊敬し、良い交流を持っていたそうです。

ミントの家 山根 徹

たんぽぽ通信

8月1日発行 174号
 ケアハウス王喜の郷 令和3年8月号
 ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

東京オリンピック2020を楽しまれていますか？1964年のオリンピックを知っている者としては選手たちの容姿もさりながら、目にするもの聞くものが洗練されていることに驚きます。また1964年から使われているピクトグラム(絵文字)の歴史には関心しました。今では様々なところで絵文字を見ますが、言葉の説明を要せず、見ればわかることはなんと素晴らしいのでしょう。世界の国々から多くの競技者が一堂に会するからでしょう。またインターネットの発達した国際化の時代でも、顔を合わせ競い合う素晴らしさを見せてくれました。このコロナ騒ぎの2年近く、人と人が顔を合わさず、距離を置くことはあたり前ですが、選手同士が手を握ったりハグをしたりしてお互いをたたえあっている光景を見ると、「こんにちわ!」「元気?」と声を掛け合いたくなりますね。

さて裏面のケアハウス厨房のコラムをご覧ください。今回は「チン」さんがアオザイについて書いてくれています。彼女たち調理の3人娘は、一昨年2019年12月にベトナムからやってきました。3人も日本語を一生懸命学んでいます。また日本の文化にも興味があるようです。どうぞ話しかけて「頑張ってる?」と言ってやってください。ケアハウスの利用者、職員ほぼ全員予防接種が終わりましたから。

施設長 末谷千秋

8月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1 誕生日	2	3	4 昭和レトロ コンサート	5	6 広島平和 記念日	7 立秋
8 山の日	9	10	11	12	13 ~16 お盆	14
15 様誕生日 終戦記念日	16 13:30~ ビューティーヘル プ・美容	17 13:30~ ビューティーヘルパー 美容	18 様誕生日	19	20	21 二百十日
22	23 処暑	24	25 昭和レトロ コンサート	26	27	28
29	30	31				

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。
 **ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板上に申込みを貼っています。ご記名ください。
 ***イズミ行き: 午後1時出発、2時半帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。
 ****レトロコンサート: 午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。
 ☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円
 ****ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

ケアハウス王喜の郷

今年も暑い八月が来ました。

八月と言えば私の両親の誕生日です。今年父は91歳、母は90歳です。コロナで1年以上会っていません。ショートステイやデイサービスを利用させていただいています。ご近所の方も娘さんにデイサービスを勧められ、最近行かれるようになり「皆笑顔、笑顔で楽しいねえ。」と話されているのを聞きました。私の両親もその方のように楽しくすごしてくれているといいなあと思いました。

東京2020オリンピックが開催されています。相変わらずコロナウイルスが猛威を振っています。皆さんワクチン接種は終わられましたか？

もうしばらく不要不急の外出を自粛され手洗い、うがい、消毒、マスクしっかり水分補給をされ暑い八月をのり切りましょう。 介護職 橋本万千代

王喜の郷居宅介護支援センター

東京でオリンピックが開催され、コロナ禍のため無観客となりテレビからの応援ですが、各国の選手が金メダルを取ることを目標に頑張ってきた姿を見ると本当に感動し、連日応援しています。

私達、ケアマネもケアプランの中に目標を入れ、一人一人の利用者さんがその目標が達成でき、良かったと思える生活が送れるよう支援して行きたいと思っています。

コロナワクチンの接種により、徐々に行動制限も緩み、活動機会が増えれば張り合いが出るのではないのでしょうか。もう暫く頑張ってください。



介護支援専門員 田邊 美江

ケアハウス王喜の郷(厨房)

国ごとに異なる伝統的な衣装があります。たとえば日本には着物があり韓国にはチマチョリがあります。アオザイはベトナムの民族衣装です。アオザイは直訳すると「長い衣」という意味です。丈の長い上衣と長いズボンがセットになります。現在、柄や色に富んだモダン風な物まで様々な種類のアオザイがあります。ベトナムでは純白のアオザイは高校生の制服です。卒業式、結婚式などの大切なイベントや旧正月にもベトナムの女性はアオザイを着ます。旧正月には赤いアオザイで着飾る習慣があります。ちなみに赤いアオザイは結婚式でも着用されます。女性が着用するものと思われませんか男性のものもあります。

厨房 キャンキャン

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

ヘルパーの支援の中に買い物代行があります。主に足腰に不安がある方や、一人で買い物に行くことが困難な方が利用されます。

買い物と聞いたら簡単な気がしますが、これが意外に難しく、利用者には細かく聞き取りをし、利用者やヘルパーのイメージを近づけることが必要になります。代わりに買い物に行くことで食べ物の好みが変わったり、買い物の質や量により生活スタイルもわかり、買い物代行から得られる情報がたくさんあります。

ただ頼まれたものを買物するのではなく、利用者の生活背景や栄養状態も確認する支援でもあります。また偏った食生活だと感じたらアドバイスをさせていただきます。場合もあります。

何かございましたら、お気軽にご相談ください。

サービス提供責任者 庄山 里美

王喜の郷デイサービスセンター

「暑い」、「寒い」と言う利用者さんからの声をよく聞きます。その日の気温、体調、座席の位置、人の感覚で、感じ方が違い、その都度エアコンの温度を変えたり、ひざ掛けの使用や座席の位置を代わって頂くなどの対応を行い、皆さんに出来るだけ快適に過ごしてもらえるように気を付けています。また、入浴や体操の前後など水分補給にも心掛けています。利用者さんの中には入浴後脱衣場で椅子に座ると靴からペットボトルを取り出し飲まれる方もいらっしゃり、感心しました。未だ暑い日が続きます。熱中症に気をつけていきたいと思えます。

デイサービスに今月の21日に看護師と26日に介護職員が入社しました。どうぞ宜しくお願いします。



介護職員 石川 ゆかり



王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

梅雨明け後、猛暑と言わんばかりに早朝から蝉の声。朝の挨拶は「昨夜はよく眠れましたか?」「今日も水分をしっかり摂って元気に過ごしましょう」などの声かけをし、皆さんの表情確認を行ない一日が始まります。

5月・7月には日中のアクティビティで習字や紙芝居を行いました。文字を書く、読む、文章を表現するという取り組みを行なっています。利用者の方の中には書くことに興味があり、「書かないと書けなくなる」と言われ、食事のメニューやその日の事柄、家族に対しての思いなど、日記風に書かれています。今まで続けられていたことを継続・維持していけるよう、側面から協力・声かけをしていきます。



即興で一句。 「オリンピック 蝉の声も 応援に」 H,T様 介護職員 吉村日出子

グループホーム王喜の郷

7月7日の七夕の日に、入居者の皆さんに作っていただいたお飾りと、短冊に願い事を書き、笹に飾り付けました。

短冊には、「100歳まで長生きする」、「美味しい物をいっぱい食べたい」、「家族に会いたい」等、皆さんの目標や願い事を、自分で書かれたり職員に手伝ってもらったりして書いていただきました。

完成した七夕飾りを見て、「きれいじゃねえ」と言われ大変喜ばれていました。

皆さんの願いが叶うと良いですね。

これから本格的に暑くなりますので、熱中症にならない様に、昼夜を問わず室温管理と水分補給をしっかりと行い、入居者の方や職員の体調管理に務め、暑い夏を元気に乗り越えたいと思えます

介護職員 田中 美優

放課後等デイサービス さくら

7月7日は七夕ということで、子ども達に短冊へ願い事を書いてもらいました。学校で書いた願い事そのまま書く子や、願い事を書くのが難しく自分の名前のみ書く子、具体的な地名を出してそこへ行きたいと書く子と様々でしたが、皆一生懸命に書いていました。

さくらの敷地にはゴーヤ、おくら、トマトなどの野菜、また花々が咲き乱れています。子供たちが支援員と一緒に植えたり水をやったりしています。さくら農園とそれを呼んでいます。やっと子ども達が支援員に教わりながら、オクラ、ピーマン、トマトを収穫しました。

収穫した物を支援員に満足そうに見せてくれました。



さくら支援員 塩谷 一雅

